

行政視察

を報告します。朝倉市議会では、各常任委員会に一度先進地の視察研修を行っています。

総務文教常任委員会

秋田県秋田市
岩手県盛岡市
一関市

平成26年11月5日～7日

【秋田県秋田市】

学力向上の取り組み

秋田市教育委員会では、個性や能力を最大限に発揮し、主体的に未来を切り開く「自立」の力と、互いを支え合い、高め合い、協働して社会を創造する「共生」の力を兼ね備えた人材の育成が求められているとして、「自立」と「共生」が、相互作用によって高められる力であることを踏まえ、発達段階に応じて、バランスよく育むことに努めています。家庭と学校の関係（役割）もしっかりしていると感じました。

【岩手県盛岡市】

公共施設保有の最適化と長寿命化のための取り組み

人口構造の変化や経済状況の低迷等で扶助費の増加が見込まれ、また、財政の硬直化が進んでいます。このため盛岡市では、「目指すべき施設保有の姿」を定め、財源や現在ある施設を有効活用し、持続可能な市民サービスの提供を目指しています。限られた財政の中で、合理的に、整合性を持って検討していくことが大事であると改めて認識しました。

【岩手県一関市】

自主防災組織の取り組み

平成11年2月に結成される。123行政区が結成（157行政区中、81・53％）自主防災組織は、自助（自分の命は自分で守る）、共助（自分たちの地域は、自分たちで守る）の理念を基に活動しています。

しかし、結成から15年が

過ぎ①住民の防災意識の低下②役員の高齢化③リーダーや後継者の不足等の問題を抱えており、行政が各行政区と一緒に対策に当たっています。防災（減災）講習会の開催や、地域人材の発掘、防災ウォークラリーの開催等を実行し、その解決に取り組んであります。常に官民あげて防災組織の育成・防災意識の啓発等計画的に行っておりました。



秋田県秋田市にて

環境民生常任委員会

滋賀県甲賀市
守山市

平成26年10月6日～8日

三市の行政視察を予定していましたが、三重県亀山市については台風の影響で中止となりました。

【滋賀県甲賀市】

甲賀市地域新エネルギービジョン（改訂版）・生ごみ堆肥化事業

この計画は、市民・事業者・行政が協働のもと、市内の再生可能エネルギーを有効活用することにより、化石燃料に頼らない持続可能な社会を目指して平成18年2月に策定され、取り組みが行われてきました。地球温暖化抑制のため、全球的視野を持ちながら地域で実行する施策の指針として公表され、計画期間は平成18年から27年となっています。特筆すべきは、この

け自ら計画し行動する市民

・絆でつながり、お互いに助けあう地域

施策導入が、国の再生エネルギー買取制の導入よりも先に実施されている点です。その後、今回の改訂版は平成23年3月に策定されましたが、現状は全体的に厳しい状況のようです。

しかし、この施策を進めていく中で、市民に「循環型社会の構築」の考えが浸透し、並行して実施されている「生ごみ堆肥化循環システム」の推進において大きな成果をあげています。市全体の25%にあたる8700世帯が参加されていると、更に増え続けているとのこと。

【滋賀県守山市】

すこやかまちづくり行動プラン

・自らの心身に対する健康意識を高め、その維持に向

・市民や地域活動に寄り添い、しっかりと支える行政

をつなぎ、住みやすさ日本一を実感できるまち守山市を目指しています。その目標の下、「健康づくり」、「生きがいづくり」、「在宅支援」の3つの大きなテーマを掲げ、市民・地域の取り組みを促す仕掛け、市の取り組み施策が、それぞれに考えられています。



滋賀県甲賀市にて

建設経済常任委員会

北海道北広島市

江別市

岩見沢市

平成26年11月8日～10日

【北海道北広島市】

北広島市ファーストマイホーム支援制度

子育て期などで生活負担が多い世帯を対象として、市内に初めて住宅を購入・定住し、一定の条件を満たした方に50万円を助成し、その用途は問わないという支援を行うもので、「社会増、年少人口・生産年齢人口の増加対策のための事業」として打ち出しています。

若い子育て世代を呼び込み、市に活気を取り戻し、定住化させる施策として、本市でも思い切った事業を打ち出す必要があると感じました。

【北海道江別市】
都市と農村の交流拠点施設
建設基本構想

中学校の統廃合に伴い、跡地利用として都市と農村の交流拠点として位置づ

け、グリーンツーリズムなどによる地域の活性化や経済活動に配慮した多面的な機能を有する施設を建設し、平成29年の完成を目標に交流拠点施設の建設を行うものです。

本市においても、グリーンツーリズムや食育といった取り組みに、更なる展開が求められています。

【北海道岩見沢市】
岩見沢市中心市街地コンバージョン事業

空き店舗、空き家対策として、宅建協会に委託し、情報の収集や公開、無料相談等を実施。コンバージョン事業として、大家が家賃を引き下げること条件に、改修費を補助し、共同店舗や共同住宅の新築に対しても補助を行うものです。

中心市街地の空洞化はどの市も同じ悩みを抱えており、その中で抜本的な施策

を打ち出した岩見沢市は評価できます。市費を投資することが結果的に経済効果を生み、まちづくりに生かされ、特徴ある市街地が形成されつつありました。



北海道江別市にて

3月議会 会期日程（予定）

- 2月24日 ◎開会
○会期の決定
○会議録署名議員の指名
○議案等の上程
○提案理由の説明
○予算審査特別委員会の設置
◇予算審査特別委員会（考案日）
- 25・26日 ○一般質問
27日 ○一般質問
3月2日 ○一般質問
3日 ○議案等の質疑
○議案等の委員会付託
4～6日 ◇常任委員会
9～12日 ◇予算審査特別委員会（事務整理日）
13・17日 ○議案等の審議（委員長報告 質疑・討論・採決）
19日 ○追加議案等の上程
○提案理由の説明
○追加議案等の審議（質疑・討論・採決）
○諸般の報告
◎閉会

意見書

「国民健康保険制度の改善を求める意見書」

【意見書要旨】

国民健康保険制度は国民皆保険を支える重要な制度ですが、制度を取り巻く状況が著しく悪化し、多くの市町村における国民健康保険の財政運営は非常に厳しい状況です。

国民健康保険事業の安定運営を図るべく、国民健康保険制度の抜本的な改革を講じるよう国に意見書を提出しました。

編集後記



寒風の中、先駆けて咲く梅の花は不撓不屈の精神に響えられています。

降りかかる困難な問題を乗り越えていくからこそ、人は成長していけるといふ事でしょう。本年も、いろんな問題が起こることだと考えられますが、成長の糧として挑戦していきます。

第3回議会報告会において、市民から議会だよりについて嬉しい御意見をいただきました。感謝と責任の重さを感じました。今号をもちまして現委員での編集は終了致します。

しますが、議会として今後も市民の皆様に関われる「議会だより」を目指してまいりますので、ご愛読のほど宜しくお願い致します。誠にありがとうございます。

広報委員会

委員長	村上百合子
副委員長	富田 栄一
委員	稲富 一實
委員	今福 勝義
委員	堀尾 俊浩
委員	鹿毛 哲也



3月定例会の会期日程は、2月19日(木)開催予定の議会運営委員会に変更になる場合があります。